



中・高が同じだった、順子サン（右）とみこさん。就職が決まった順子サンは日々これ決戦。これが最後とはかりハジけて遊んどく？

買い物帰りのユリさんは、買ったばかりの服類（1000円）と帽子にご満腹。「彼氏が欲しい」とおっしゃるか、こんな素敵な人がひとりとは、世も末かー



中川ナイトを熱くする、コジマ、ナオ、マサ、テツロー、ユウヤのDJ五人衆、リュウヤ氏によると「Sound System」と称して昼の河原町でのプレイも計画中です！



とにかく皆さんお酒が強い。のなんの。とりあえずビールを開けてから箱の確認というキョウイ。酔いに任せて踊る。踊る。そして踊る。それがルール。



イベントと話をハジけるなんていう強者が普通にいる。今日が初体験という人もいたのだが、あっという間に馴染んでしまった。それが中川ナイトの面白いところ。



この日最大の謎だった舞臺レズラー。日本であるが、「リンダネームは、ソトルイノキ。試合は中川酒店にて」。ちらっと見えるキューートなお尻にキルの視線はくまづけ



HIPHOPのダンサーながらレゲエサウンドには逆らえず踊りまくっていたコウジ君。黄色のマンハッタンコーチャー。他、なんだかんだ着てたらスタカラーで登場

取材・文/岡崎美樹 撮影/高橋章夫

1998.08.29 at club GRIND
NAKAGAWA NIGHT '98

今や「コロッケ・ビール・レゲエ」といえば京都レゲエの代名詞。その中川酒店の恒例行事「中川ナイト」'98版はクラブGRINDで大暴れエディ氏率いる中川スタッフ&DJ陣も常連も一見も、集まったタダのレゲエ好きも縄張り違えどパワー全開
 ここに来れば（こいつらの周りにいれば？）いつでも真夏のジャマイカとばかりにダンスあり、飲みありで大騒ぎした夏の終わりの一夜



左から中川酒店のエディ氏、たみちゃん、今日の最年長、服部・サンダーのマスター、歌手のユキちゃん。イベントの常連（もはや主催者の一員？）さんだ



は両記代サン（右）と歌手姉妹と友人の千恵さんの3人組。隣の女子サンの方が姉に見えるとの意見に、姉の記代サンは大負け